

# 日本小児歯科学会大会における託児室利用状況 (第1報)

○渥美信子, 馬場篤子, 下村一黒木淳子, 茂木瑞穂, 名生幸恵, 藤岡万里,  
土岐志麻, 浜野美幸, 清水武彦, 朝田芳信, 井上美津子, 高野博子  
(日本小児歯科学会女性小児歯科医委員会)

## 【目的】

日本小児歯科学会の女性会員を対象にアンケートを行った結果、継続就業のために仕事と育児との両立をサポートする事業として、学術大会での託児室設置を希望する意見が多かった<sup>1)</sup>。そこで、平成25年9月の日本小児歯科学会理事会において、大会開催時の託児室設置の援助が承認され、他学会に先駆けて現在設置は必須となっている。そこで今回、平成25～28年度の託児室利用状況、利用者へのアンケート結果および今後の検討課題について報告する。

## 【対象と方法】

平成25～28年度に開催された各大会から提出された託児室利用状況報告書より託児室利用者数および年齢内訳を調査した。また、託児室を利用した保護者を対象に、無記名、選択式(一部自由記載)で実施したアンケートのうち、アンケート用紙が保存されている54名を調査対象者とした。

## 【結果】

### 1. 年齢別利用者数の割合および大会別利用者数

平成25年度は中部と九州地方会で、平成26～28年度は全国大会および6地方会すべてで託児室が設置された。利用者数の合計は110名であった。年齢別利用者数の割合を図1に、大会別利用者数を図2に示す。

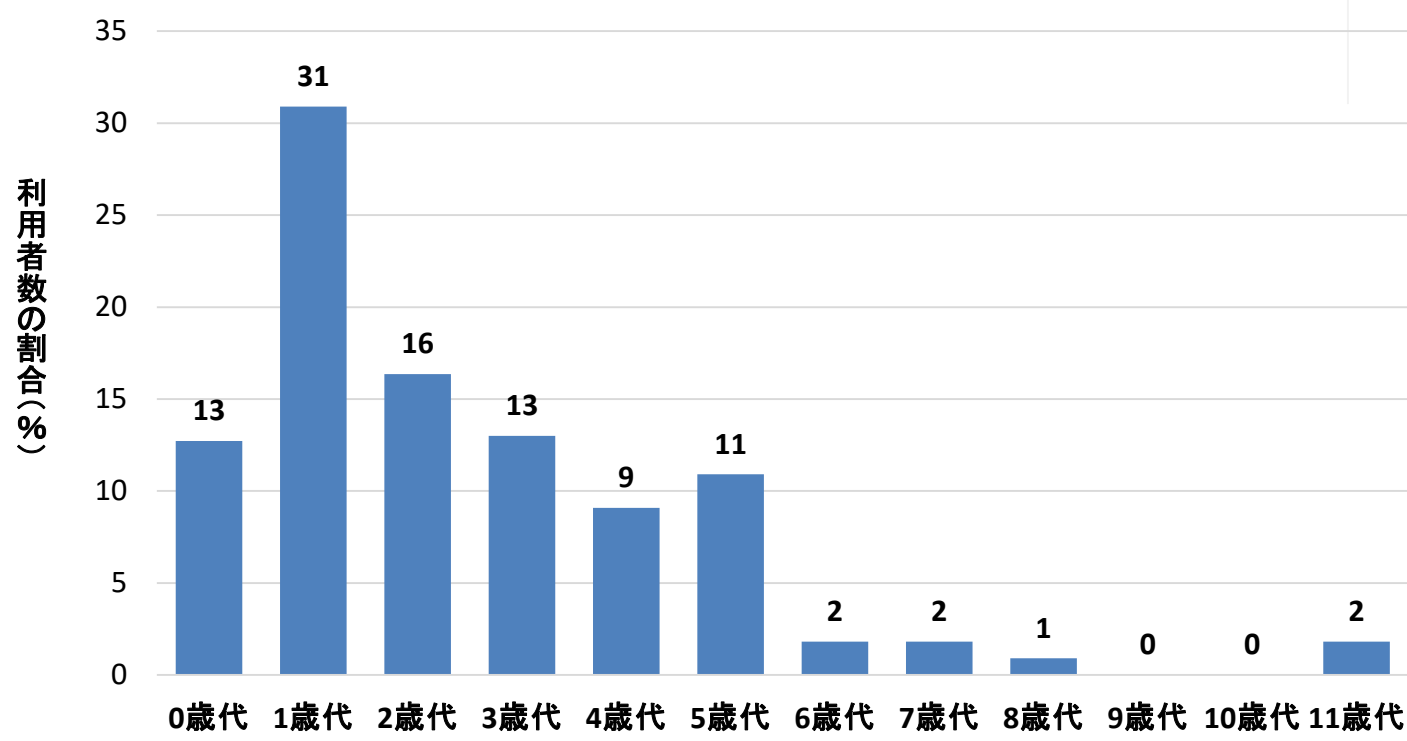


図1 年齢別利用者数の割合

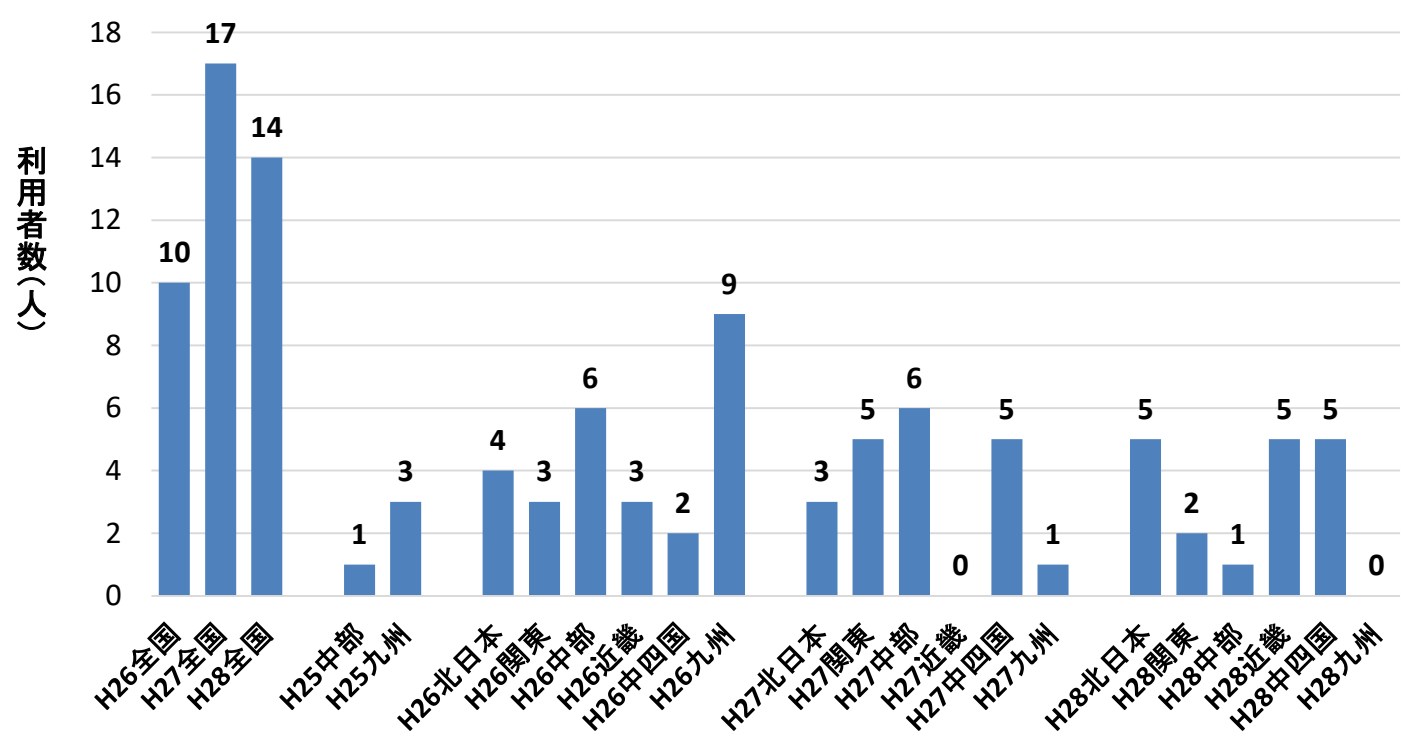


図2 大会別利用者数

### 2. 預けた保護者の性別、年齢、職業はどれか。

預けた保護者は96%が女性で(図3)、年齢は30歳代が70%(図4)、職業は歯科医師が89%であった(図5)。

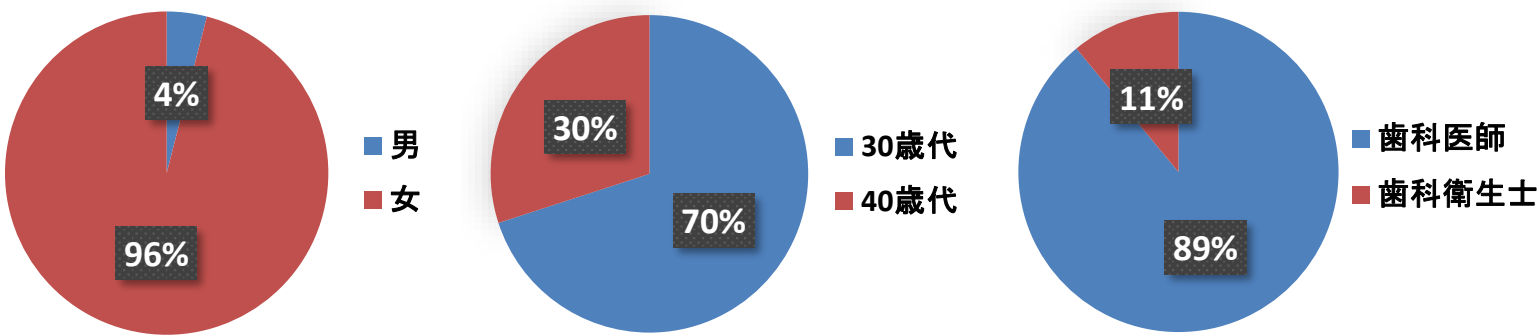


図3 性別

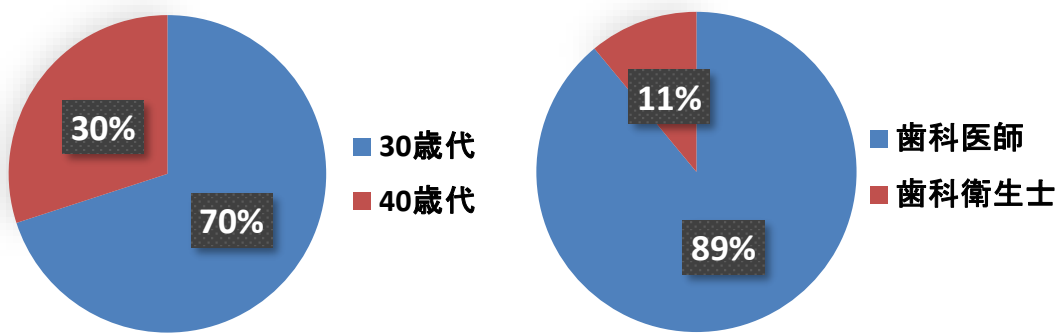


図4 年齢

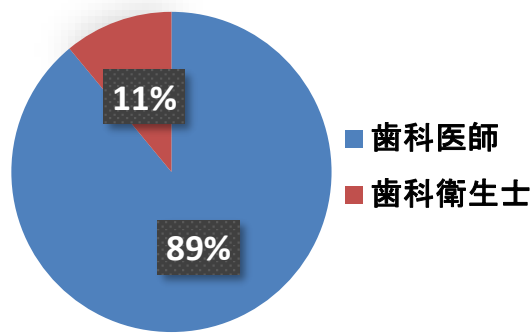


図5 職業

### 3. 今回の託児室設置を何で知ったか。

託児室設置の情報は57%がHPから得ていた(図6)。

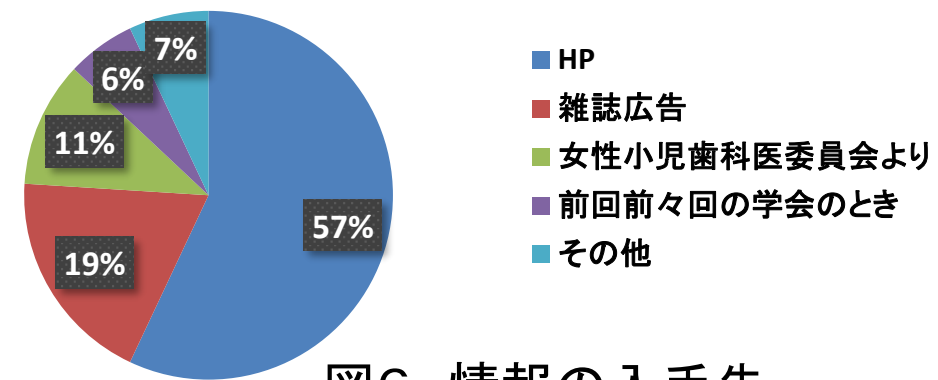


図6 情報の入手先

### 4. 利用料の自己負担はどの程度までならよいか。

有料なら利用しないが9%、利用料に関わらず利用したいが30%、利用料によるは61%であった(図7)。一人一日あたりの利用料の希望は500～10,000円で、最も多かったのが3,000円であった(図8)。

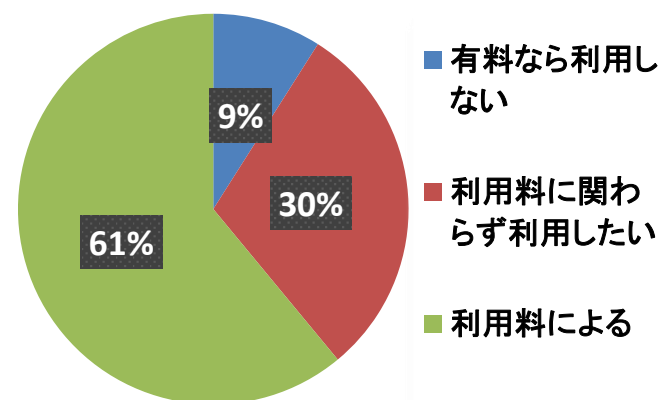


図7 利用料の自己負担

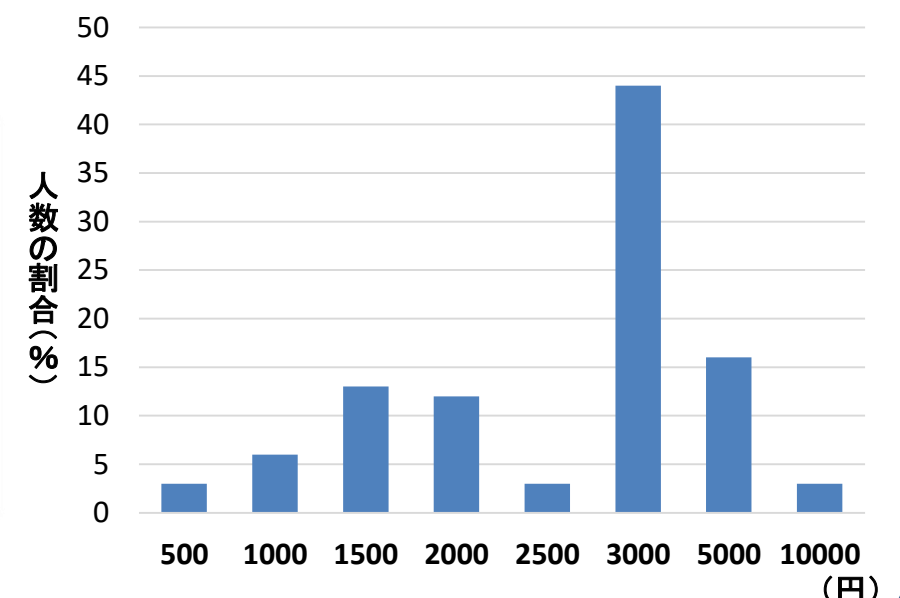


図8 利用料の希望金額

### 5. また預けたいと思うか。

全員が「はい」と回答した。

### 6. 5ではいと答えた理由(複数回答可)

学会に参加したいから53名、料金が安いから17名、自分にとって良い気分転換になったから11名であった。

### 7. 大会会場と別の場所になっても利用したいか。

最も多かったのが「状況による」と回答したもので52%、「利用したい」が39%、「利用しない」が9%であった。

### 8. 今回、託児室がなかったら大会への参加はどうか。

「参加した」48%、「参加しなかった」46%であった(図9)。

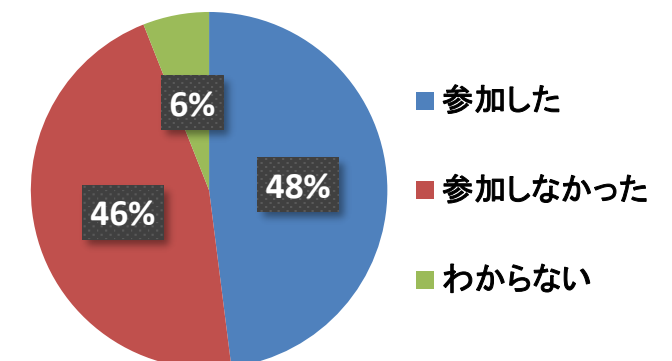


図9 託児室がなかった場合の参加の有無

## 【考察】

今回の結果では、利用者是对応、料金(無料)、設備、セキュリティに満足し、全員が「今後も利用したい」と回答していた。利用した子どもの年齢は、0～2歳代までが6割を占めており、授乳スペースを希望する意見があった。託児室の一部に授乳できるスペースを確保するなどの対応が必要と思われる。また、利用者の増加に伴い人数制限や年齢制限を余儀なく行う状況もあった。今後の検討課題もあるが、「託児室がなかったら大会へは参加しなかった」との回答が約半数あったことから、学会開催時の託児室設置は、育児中の方にとって、学会への参加を促進する要因の一つであると考えられた。今後も問題点を抽出し、より利用しやすい託児室となるように改善していきたいと考えている。

## 【文献】

1) 馬場篤子, 他: 日本小児歯科学会に属する女性小児歯科医への本音トークアンケート結果, 小児歯誌, 50:383-392, 2012.